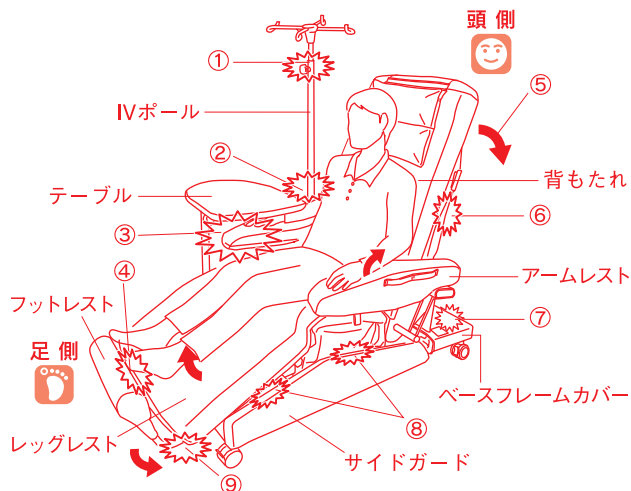


機械器具1 手術台及び治療台
一般医療機器 診療・処置用椅子 16437000
透析・化学療法向けチェア $\mathcal{L}'za$ 「エルザ」(KA-8260)

【警告】

- 以下の可動部に身体の一部（特に頭や首）が入らないように注意してください

[すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。]



- ①背もたれと、IVボール(KC-56:別売、以下、IVボール)とのすき間。
②背もたれとテーブル(KF-8250:別売、以下、テーブル)とのすき間。
③レッグレストとテーブルとのすき間。
④フットレストとレッグレストとのすき間。
⑤背もたれと壁やものとのすき間。
⑥背もたれとアームレストのすき間。
⑦アームレストとベースフレームカバーのすき間。
⑧座面下部とサイドガード、サイドガードとレッグレストのすき間。
⑨フットレストとゆかとのすき間。

【禁忌・禁止】

- 小児(12歳以下)には使用しないでください

[本製品は、小児(12歳以下)向けには設計されていません。アームレストなどのすき間にはさまれたり、転倒してけがをしたりするおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】



■主材料

フレーム	スチール(エポキシ樹脂塗装)
表側地	塩化ビニルレザー
クッション材	ウレタンフォーム

■動作原理

- 背もたれあげ・さげ、レッグレストあげ・さげ、高さ調節：
電動リニアアクチュエーターの伸縮によるリンク機構

【使用目的又は効果】

電動等で駆動する採血、透析等で使用される椅子

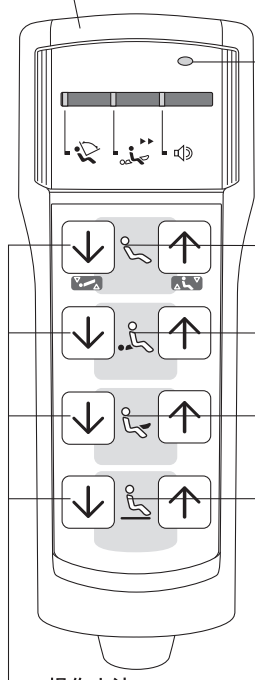
【使用方法等】

- 取扱説明書に記載されている方法で設置してください。
●記載されていない使用方法などについては、取扱説明書をご参照の上行ってください。

1) 手元スイッチ

手元スイッチ操作によってチェアの背もたれ、レッグレストの角度、チェア全体の高さを無段階に調節できます。

手元スイッチ



電源ランプ

点 灯 (緑)：● 正常な通電状態です。

消 灯：● 電源プラグあるいは手元スイッチプラグが外れているか、停電・断線などの場合です。

点 滅 (赤)：● 断線や障害物との接触などの異常を表示しています。

点滅 (橙と緑)：● 電装品の点検時期を表示しています。

操作選択ランプ

点 灯：● 操作が可能です。

消 灯：● 操作が禁止になっています。

点 滅：● 側面の手元操作禁止スイッチを押したときに、操作可能な箇所が点滅します。

操作方法

ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。また、2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



連動あげボタン (いす)

● 背もたれとレッグレストを同時に動作させ、いす状態にします。

連動さげボタン (水平/傾斜)

● 背もたれとレッグレストを同時に動作させ、水平もしくは傾斜状態にします。

・ 水平状態

背もたれの角度が0° 以上かつレッグレストの角度が0° 以下のときボタンを押すと水平状態となります。

・ 傾斜状態

水平状態で再度ボタンを押すと傾斜状態となります。



背もたれのあげ・さげボタン

● 背もたれの角度調節ができます。

頭



レッグレストのあげ・さげボタン

● レッグレストの角度調節ができます。

足



チェアのあげ・さげボタン

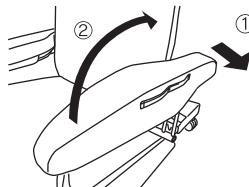
● チェアの高さ調節ができます。

高さ

2) アームレストについて

■ アームレストは背もたれと連動して動きます。いす状態では肘掛けとして使用でき、背もたれを水平にするとアームレストもさがりフラットになります。また、看護師が穿刺や採血しやすいよう、アームレスト高さ切換えレバー (以下、高さ切換えレバー) により、アームレストの高さを高く調節することができます。

■ アームレストの跳ねあげ

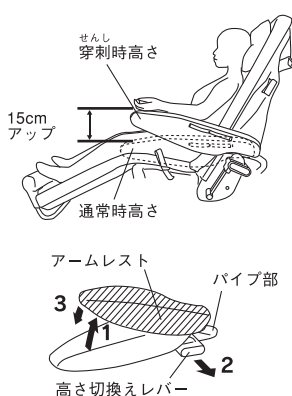


● チェアへの乗り降りをする際は、アームレストを上方へ跳ねあげてください。

① アームレストの根元の方を外側にスライドしてください。

② 上方へ跳ねあげてください。

■ アームレストの高さ調節



● 看護師が穿刺や採血しやすいよう、高さ切換えレバーにより、アームレストの高さを高く調節することができます。

【高さをあげるとき】

① アームレスト先端を持ちあげてください。

② 高さ切換えレバーを引き出してください。

③ 高さ切換えレバーの上段にアームレストをゆっくりとおろしてください。

【高さをさげるとき】

① アームレスト先端を持ちあげてください。

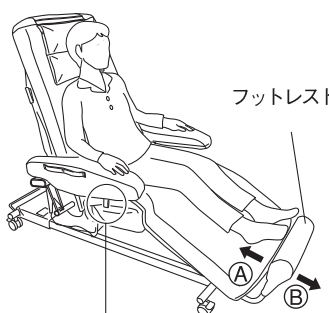
② 高さ切換えレバーを押し込んでください。

③ その上にアームレストをゆっくりとおろしてください。

3) フットレスト

■ フットレストの位置を調節することで、身体のずれを修正したり大腿部裏の圧迫を予防するため位置が調節できます。

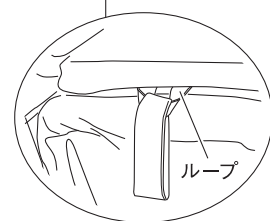
■ フットレストの調節位置



● ① 方向へ動かすときは、フットレスト位置調節ベルト (以下ベルト) を上に引きあげてください。フットレストが自動で動きます。

● ② 方向へ動かすときは、ベルトを上に引きあげながら、患者自身がフットレストを足で押して、好みの位置でベルトを離してください。

※ フットレストはベルトを離れた位置で固定されます。



フットレスト位置調節ベルト

4) 緊急背さげ機能

■ 手動緊急背さげ機能

● 貧血などの緊急時や停電時に緊急背さげレバーを操作することで、背もたれを素早くさげることができます。レバーは背もたれ部の両側面にあり、左右どちらのレバーでも操作可能です。



緊急背さげレバー

■ 操作方法

① 片手で緊急背さげレバーを引きながら、もう片方の手で背もたれを支えてください。

※ 患者の体重や背もたれの角度によっては、レバーを引いただけではさげられない場合があります。その際は、もう片方の手で背もたれを押してください。



②背もたれをさげたい位置にくるまで、レバーを引き続けてください。操作の途中でレバーを戻すと、背さげ動作も止まります。背もたれは最大で -12° （傾斜状態）までさげることができます。

※レバー操作で背もたれをあげることはできません。背もたれをあげる際には手元スイッチを使ってください。

■電動緊急背さげ機能

- 手元スイッチの連動さげボタンを押すことで、背もたれを素早くさげることができます。「6. 手元スイッチの使いかた」（取扱説明書 22 ページ）を参照してください。

5) キャスター

- キャスターは4輪それぞれにロック機能がついています。
- ①ペダルを下側にすると回転・旋回ともにロックされた状態になります。ロックにするとキャスターは回転・旋回しません。
- ②ペダルを上側にすると回転・旋回ともにロックが解除されます。ロックを解除するとキャスターは回転・旋回します。



〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- アームレスト高さ切換えレバーを操作する際や、アームレストをあげ・さげる際は、最後までアームレストから手を離さずにゆっくりと操作してください
[途中で手を離すとアームレストが急にさがり、手や指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]
- アームレストをスライドする際は、アームレストとパイプ部とのすき間に注意してください
[手や腕などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]
- アームレストを跳ねあげた状態で背もたれを操作しないでください
[アームレストが不意に倒れ、手や腕などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]
- チェアを移動する際は、アームレストをさげてください
[アームレストを跳ねあげた状態で移動すると、アームレストが不意に倒れ、手や腕などがはさまれてけがをするおそれがあります。]
- テーブルの支柱と座面・レッグレストのすき間に注意してください
[足などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]
- テーブルとTVアーム受を併用した際にできるすき間に注意してください
[手や指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]
※テーブルの天板は回転します。]
- チェアを操作する際は、周りの人やもの、患者につながっているラインに注意してください
[チェアの下に潜り込んだり、頭や手・足などを入れたりしていると、チェアの可動部分（ベースフレームや背もたれなど）とのすき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。]

- チェアへの乗り降りは背もたれをあげ、アームレストを跳ねあげた状態で側面から行ってください
[レッグレスト側から乗り降りしたり、アームレストを跳ねあげないで乗り降りを行うと、身体が不安定となり転倒してけがをしたり、チェアから転落するおそれがあります。背もたれをさげた状態で背もたれから乗り降りすると、転落・転倒してけがをするおそれがあります。また、安定性が低下し、チェアが転倒してけがをしたり破損・変形するおそれがあります。]

- チェアを移動させるとき以外は、4輪すべてのキャスターにロックを掛けてください
[患者がチェアに乗り降りする際などに、チェアが動いてけがをするおそれがあります。]

- チェアに乗り降りする際は、テーブルに手をつかないでください
[テーブルが不意に回転し、転倒してけがをするおそれがあります。]

- テーブルをご使用の際は、チェアへの乗り降りはテーブル取付側から行わないでください
[テーブルに足が引っ掛かるなどして転落・転倒し、けがをするおそれがあります。]

- チェアが高い位置やベッド状態（水平状態）では、乗り降りしないでください
[チェアから転落・転倒してけがをするおそれがあります。]

- サイドガード・ベースフレーム・ベースフレームカバーに乗ったり、足をかけないでください
[背さげや高さ調節の際に、足などがはさまれてけがをするおそれがあります。サイドガード・ベースフレーム・ベースフレームカバーが破損するおそれがあります。]

- アームレスト高さ切換えレバーを操作する際、可動部のすき間に注意してください。また、アームレスト高さ切換えレバーを無理に引かないでください
[手や指などをぶつけて、けがをするおそれがあります。]

- アームレストの高さ調節を行った際、アームレストがアームレスト高さ切換えレバーの突起上に載っていないことを確認してください
[アームレスト高さ切換えレバーの突起上に載っていると、アームレストが不意に落下し、けがをするおそれがあります。]

- ^{せんし}穿刺や採血の際などの必要時以外は、アームレストの高さを高く調節しないでください
[アームレスト高さ切換えレバーが押し込まれると、アームレストが不意に落下してけがをしたり、アームレストが破損するおそれがあります。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- アームレストの後方に手をつかないでください
[アームレストが跳ねあがり、転落してけがをするおそれがあります。]
- アームレスト高さ切換えレバーを患者に操作させないでください
[チェア上から操作すると、転落して、けがをするおそれがあります。]
- 手動緊急背さげを行う際は、片方の手で緊急背さげレバーを操作し、もう片方の手で背もたれを支えてください
[チェアを使用している方の体重や背もたれの角度によっては、背もたれが急にさがりけがをするおそれがあります。]
- テーブルを使用する際は、角度制限機能を ON にしてください
[角度制限機能が OFF の状態では、テーブルとレッグレストの間に足などがはさまれて、けがをするおそれが高くなります。角度制限 OFF の状態での操作は、医師または看護する方の監視下で行ってください。]
- IV ボール受 (KC-825A: 別売) を取付けた状態で移動する際は、足元に注意してください
[IV ボール受に足をぶつけたり、はさまれてけがをするおそれがあります。]

- 人を乗せたまま移動しないでください
[移動中に転落し、けがをするおそれがあります。]
- 操作が理解できないと思われる方（12 歳以下の小児や認知症の方など）に操作させないでください
[操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってチェアに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
・手元操作禁止スイッチで操作を禁止する。(取扱説明書参照)
・電源プラグを抜く
手元操作禁止スイッチで操作禁止を設定している場合でも、リセット操作をすると、すべての操作ボタンが操作可能な状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬチェアの動作により、けがをするおそれがあります。(取扱説明書参照)]
- チェアに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください
[チェアが破損して、けがをするおそれがあります。このチェアの安全動作荷重は 1600N (163kgf) です。安全動作荷重はチェアを安全に使用できる荷重であり、使用者体重とオプションなどの付帯物の合計荷重です。]
- 背もたれ、レッグレストを水平にした状態で、端部に手をついたり、腰掛けしないでください
[転落・転倒してけがをするおそれがあります。安定性が低下し、チェアが転倒してけがをしたり、破損するおそれがあります。]
- アームレストに腰掛けたり、立ちあがる際の支えにしないでください
[体重をかけるとチェアから転落・転倒してけがをしたり、アームレストが破損するおそれがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法

- チェアの高さを最低高さまでさげてください。
- チェアの上には何も載せないでください。
- アームレストは通常時高さ（高さをさげた状態）にしてください。
- チェアに設置しているオプション類はすべて外してください。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。温度 -10～50℃、湿度 30～90%RH の環境で保管してください。
- 水平な場所でキャスターのロックをすべてかけて保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコード掛金具に巻き付けてください。(取扱説明書参照)
- 取扱説明書や添付文書は紛失しないよう、大切に保管してください。

2) 耐用期間

8年【自己認証（当社データ）による】但し、キャスター等の消耗部品は除く。

【保守・点検に係る事項】

1) 点 検

〈使用者による保守点検事項〉

- 患者をチェアに乗せて使用する前に、各部の操作が正常にできること、異常音がしないことを確認してください。安全にご使用いただくために、1年に1回は取扱説明書に記載された点検項目をチェックして、異常がないことを確認してください。異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

※当該製品の修理を行うには、医薬品医療機器等法に基づく修理業の許可が必要となります。

2) お手入れ

■チェア本体の汚れの落とし方

- 下記①～③の手順で行ってください。
①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒のしかた

- 必ず下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。
0.02～0.05% 次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）
76.9～81.4 vol% エタノール

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1) 製造販売業者

■パラマウントベッド株式会社

☎(0475)81-3000(千葉工場)

2) 販売業者

〈パラマウントベッド株式会社〉

□本 社

〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5 東京支店

☎(03) 3648-1171 (代)

□札幌支店

〒060-0062 札幌市中央区南2条西13-318-11

☎(011) 271-1181 (代)

□仙台支店

〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-65 花京院プラザ4階

☎(022) 217-7311 (代)

□さいたま支店

〒338-0001 さいたま市中央区上落合9-4-7

☎(048) 852-0707 (代)

□横浜支店

〒194-0004 東京都町田市鶴間5-3-33

☎(042) 795-8800 (代)

□名古屋支店

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-17

☎(052) 963-0600 (代)

□大阪支店

〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-3-33

☎(06) 6443-8791 (代)

□広島支店

〒733-0011 広島市西区横川町3-8-5

☎(082) 293-1311 (代)

□福岡支店

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-20

☎(092) 461-1131 (代)

取扱説明書を必ずご参照ください

7F07778200A5